学校番号	Ｔ０２０４

令和３年度　芸術科（美術）

教科	芸術・美術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	３～４年次
使用教科書	高校美術２　（日本文教出版社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画や彫刻、デザインなどの美術の基本的な内容と鑑賞の分野について学習します。
・基礎的な技術を学ぶとともに、一人ひとり違う感じ方、考え方も大切にしながら、創造的な表現の喜びを味わいましょう。
・他の人の作品や、美術史的に重要な作品なども鑑賞しながら、自分の見方だけでなく、他の人の見方も知ることで、美術に対する理解を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.美術への関心・意欲・態度	b.発想や構想の能力	c.創造的な技能	d.鑑賞の能力
観点の趣旨	多様な表現方法を経験することにより美術の創造活動の喜びを味わい、美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現の意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	デザイン わたしってこんな人	・「自己紹介カード」を制作（ペンによるモノクロ作品）	◎	○		○	a: 自己紹介の作品をつくることにより、意欲的に取り組めた。 b:楽しい作品ができるように 表現の仕方を工夫した。 d: 作品を冊子の状態にし、相互に感想を述べ合うことで全員の作品を味わうことができた。	観察 作品の具合 鑑賞活動の様子や発言内容
	わたしの色、あなたの色	・色彩構成 　幾何形体とアルファベットによる構成 　配色カードを使用し、様々な色をつくる		◎	○	○	b: 色の響きあいを感じ取り、配色を考えて表現できた。 c:配色カードにあう絵の具の使い方、混色の技法を身につけた。 d: 出来上がった作品を全員で見ながら、感じたことを発表できた。	ワークシート 観察 作品の具合 鑑賞活動の様子や発言内容
後期	絵画 自画像 「有名作家さんに描いてもらいました」	・有名な画家による人物画を鑑賞し、その特徴を考える その作風に似せて自画像を描き水性絵の具で着彩する					a:多様な表現の仕方があることを知り、その特徴を作品に主体的に取り組もうとしている。 c:色の作り方や画面上での配置、筆づかいなどを身に付けた。 d:時代や地域あるいは画家それぞれによって、多様な表現があることを知り、理解を深た。	観察 作品の具合 鑑賞活動の様子や発言内容
	彫刻 魚をつくる	・デッサンする ・ラフォルムを用いて彫刻する ・相互鑑賞	○		◎	○	a:身の周りにある物の形を観察し、作品として表現することに意欲的に取り組もうとしている。 c:彫刻刀を用いて魚の形体や質感を立体的に表現するための工夫をこらしている。 d:お互いの作品のよさや表現の工夫を感じ取り、自分の作品についての理解を深めている。	ワークシート 観察 作品の具合 鑑賞活動の様子や発言内容

※　表中の観点について

a：美術への関心・意欲・態度

b：発想や構想の能力

c：創造的な技能

d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行なう観点（もしくは重み付けを行なう観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。